

ブロックローテーションの実践事例について

（令和4年(2022年)1月28日）
農産ワーキンググループ

先進的に空知型輪作に取り組む農業者のほ場ごとの作付実績を調査し、ブロックローテーションの実践事例を確認した。代表的な事例は以下のとおり。

（1） A農場

◎輪作の考え方

- ◆ 経営面積を4分割し、水稻（乾田直播）、小麦、大豆、その他作物で輪作
- ◆ 4年4作を目標
- ◆ 秋小麦が2年続くこともあるが、その翌年は水稻作付するよう心掛け〈a〉

〔主な作付実績〕

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
a	秋小麦	秋小麦	主食用米	てん菜	大豆	秋小麦	主食用米	てん菜	大豆
b	主食用米	大豆	秋小麦	主食用米	大豆	秋小麦	なたね	加工用米	てん菜
c	秋小麦	主食用米	大豆	秋小麦	主食用米	春小麦	秋小麦	なたね	加工用米
d	なたね	主食用米	てん菜	大豆	秋小麦	新規需要米	大豆	秋小麦	なたね

- ・ 輪作に取り組む前は、排水の良いほ場は畑作物、排水の悪いほ場は水稻を作付け。
- ・ なんでも穫れる汎用田を目指し、機械も汎用性機械を整備。基盤整備によって排水性が向上。
- ・ これまで数々の失敗を繰り返して今の輪作体系を確立。

（2） B農場

◎輪作の考え方

- ◆ 水稻移植ほ場は基本的に固定〈a〉
- ◆ 水稻は、移植・乾田直播ともに水管理の効率化のため自宅近辺で栽培〈a-d〉
- ◆ ほ場によっては6年の田畑輪換が行われている〈b〉
- ◆ 離れたほ場では、こまめな水管理が難しいため畑作物のみで輪作〈e〉

〔主な作付実績〕

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
a	主食用米								
b	主食用米	主食用米	大豆	大豆	秋小麦	大豆	秋小麦	主食用米	大豆
c	大豆	春小麦	主食用米	飼料用米	大豆	秋小麦	飼料用米	大豆	飼料用米
d	大豆	大豆	春小麦	秋小麦	飼料用米	飼料用米	大豆	秋小麦	大豆
e	春小麦	秋小麦	秋小麦	大豆	秋小麦	大豆	秋小麦	大豆	秋小麦

- ・ 田畑輪換は乾田直播との組み合わせで実施。
- ・ 自宅から離れたほ場では畑作物のみで輪作を行っているが、隣接する他の農業者のほ場では水稻の作付けも行われている。